

【キット梱包出荷の場合(個別受注対応)】

工場出荷時には一部を組立てた状態となっております。そのままの状態での搬入後、組立てを行ってください。各部品の組付け方向は下記内容にて確認してください。

⚠ 注意	
!	組立作業は必ず2人作業で行ってください。1人で作業をするとうけがをする恐れがあります。

■各部品の組付け方向確認

(1)スタンプの確認

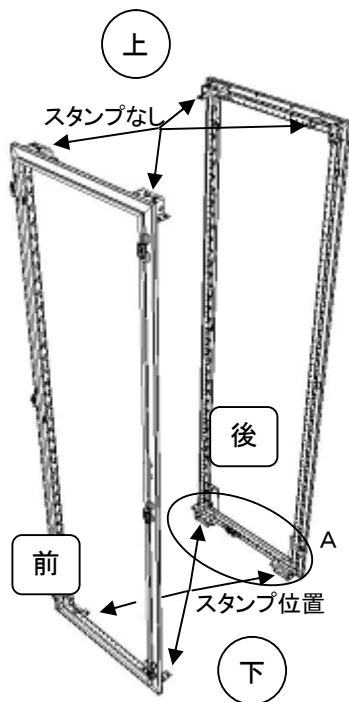
フレーム前枠、後枠、左枠、右枠には下側の金具にスタンプがされています。

前側 -----「①」

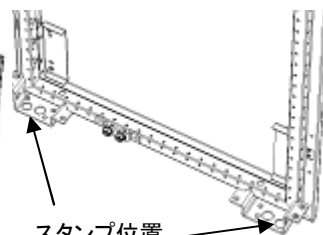
後側 -----「②」

となります。上側の金具にはスタンプはありません。

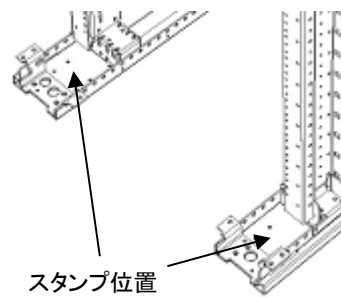
スタンプの位置は下図、右図を参照してください。



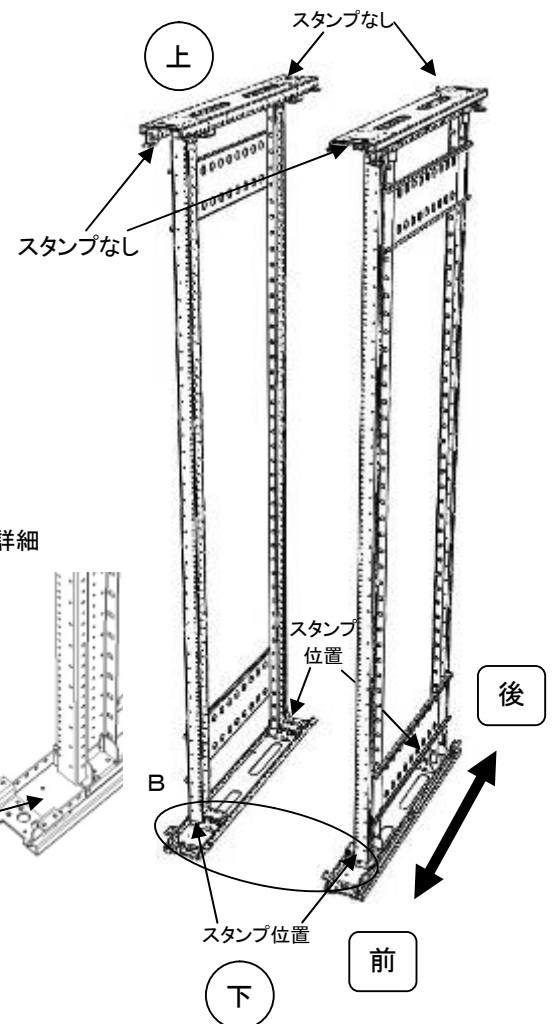
〔フレーム前・後枠〕



〔A部詳細〕



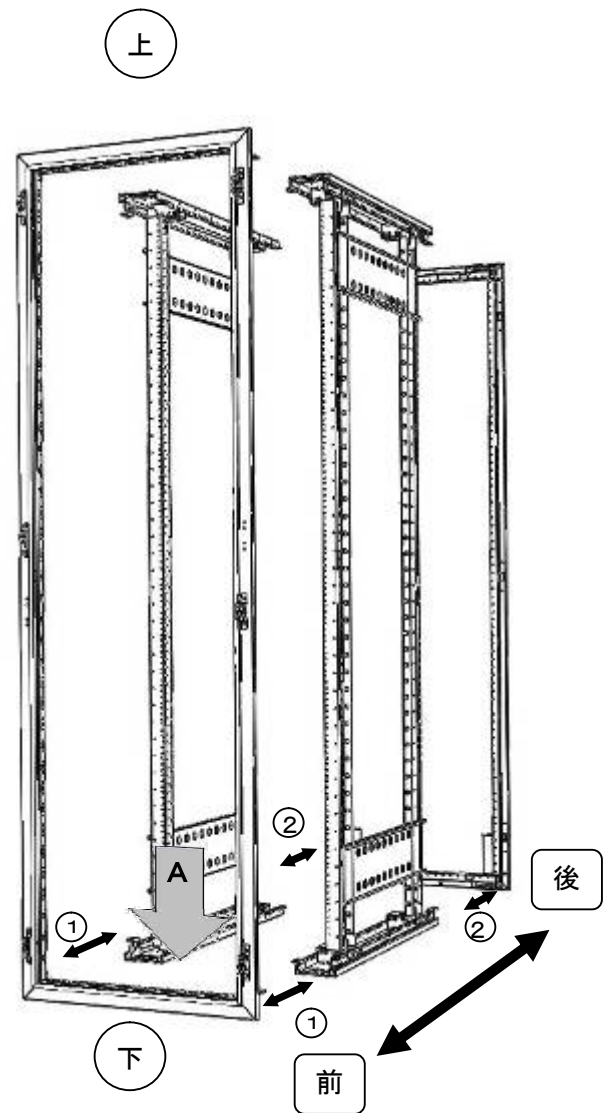
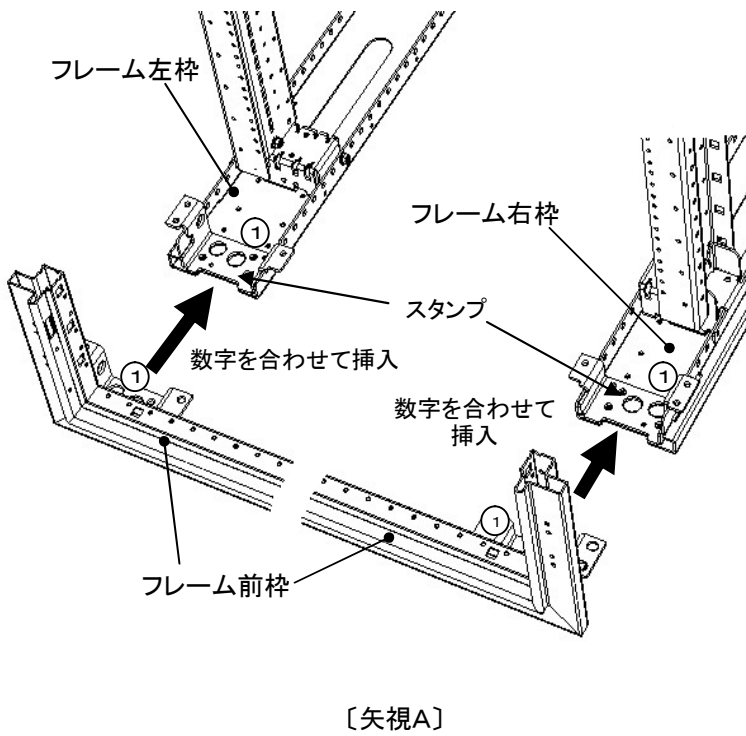
スタンプ位置



〔フレーム左・右枠〕

(2)スタンプの数字を合わせて組立

フレーム前・後枠のスタンプ数字と、フレーム左・右枠のスタンプ数字を合わせて組立てしてください。
組替仕様や、本体の仕様が異なった場合にも同様に組立方向を確認することができます。



■組立方法

組立方法については、「8~10ページ: ■組立出荷の場合 - ○組立方法」を参照してください。

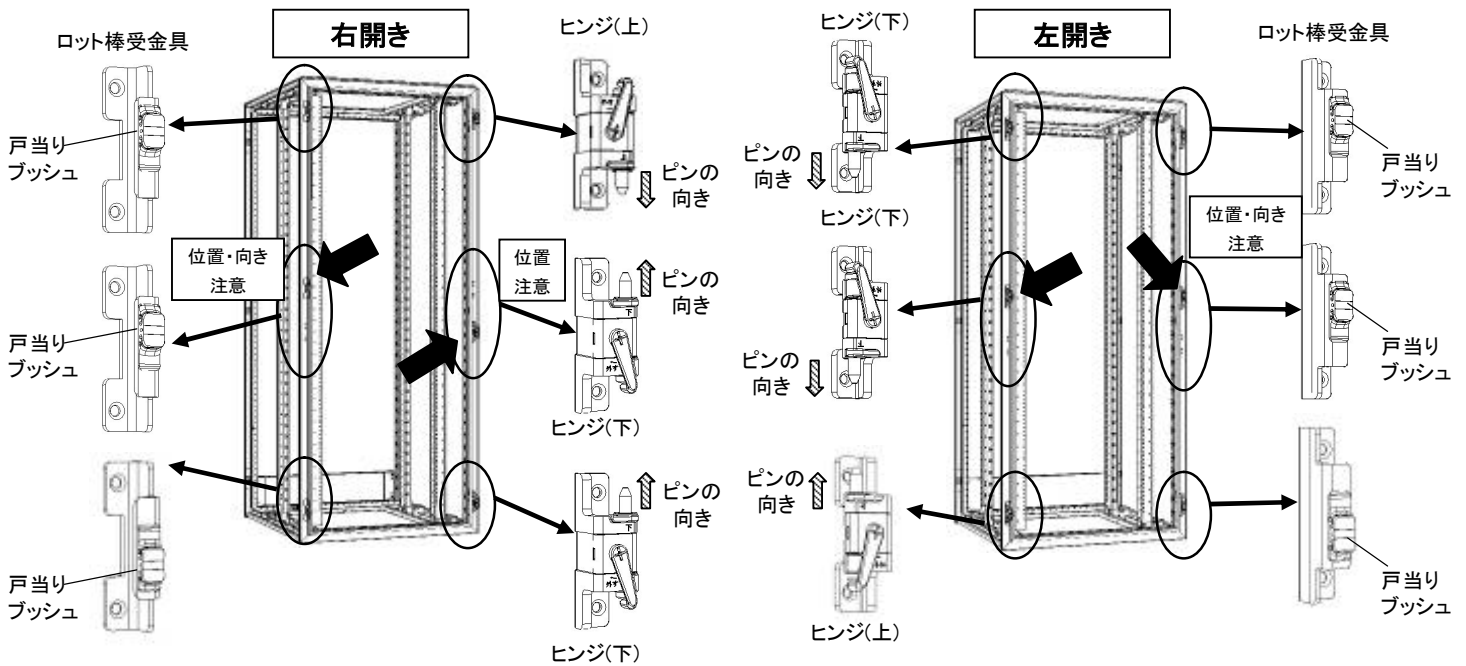
■ドア左開きへの変更方法

(1)本体組付け部品の変更

- ・「■外装パネルの着脱方法」- (1)ドアの着脱方法」を参照しドアを取外します。
- ・下図を参考に、ヒンジ、ロッド棒受金具を付け直します。この時、ヒンジの向き(ピンの向き)、戸当りブッシュの位置を下図のようになるよう確認してください。尚、中央部の戸当りブッシュは取付け向きを上下付け替える必要があります。

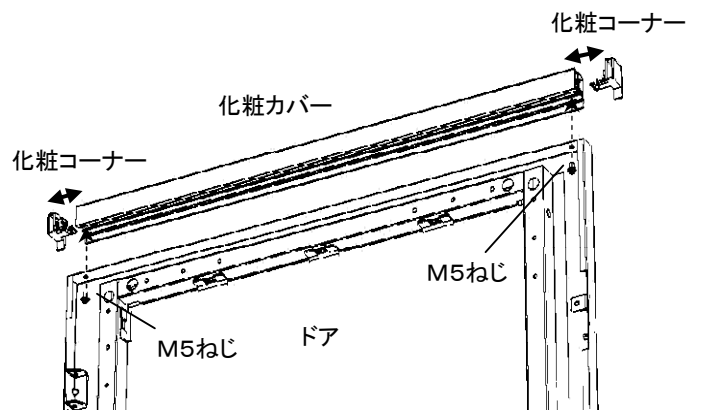
(ご注意)

ヒンジ及びロッド受金具取外しの際は、取付けねじの破損に注意してください。

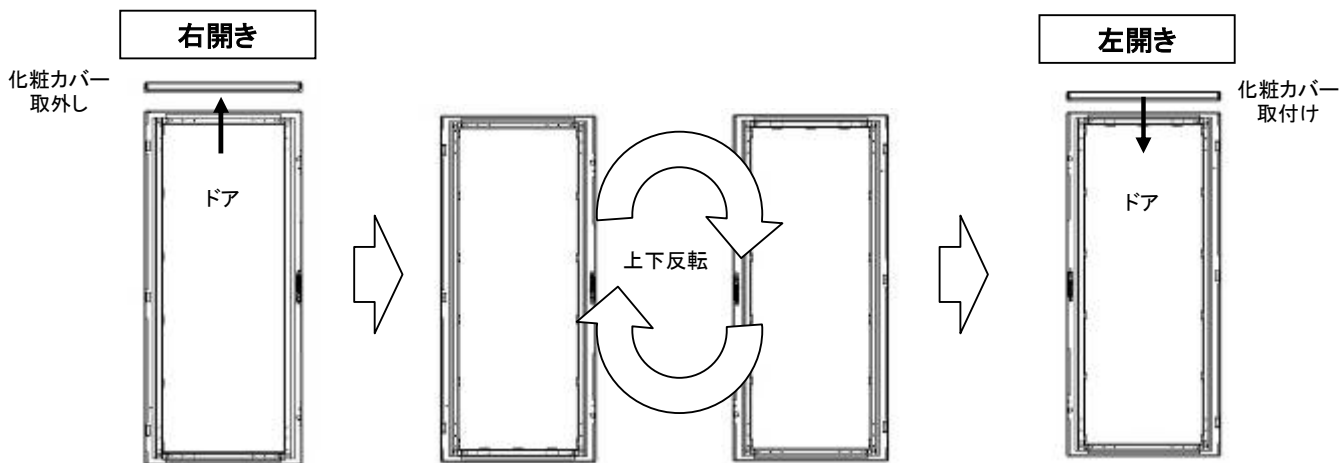


(2)ドア組付け部品の変更

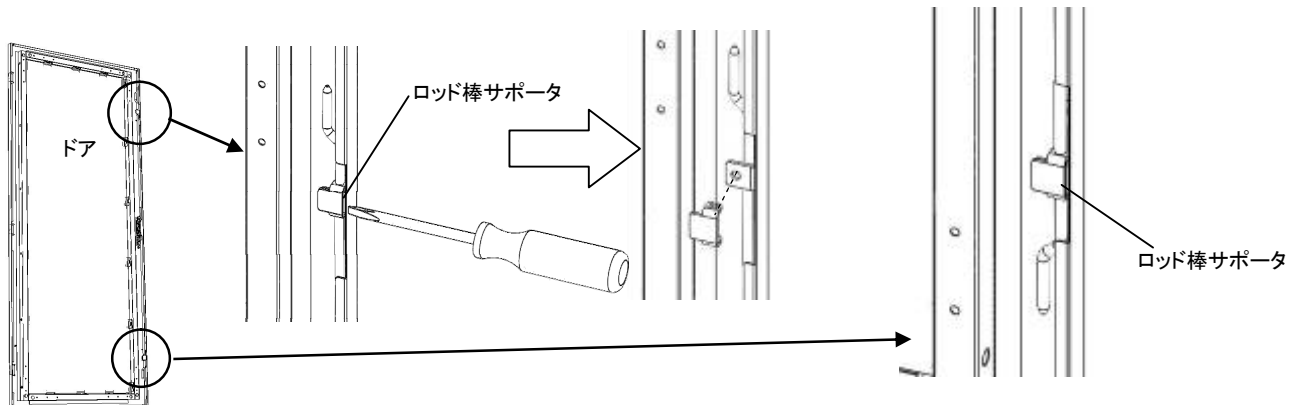
- ①ドア裏面上部のねじ(なべ小ねじM5 2個)を取外し、化粧カバー、化粧コーナーを取外します。



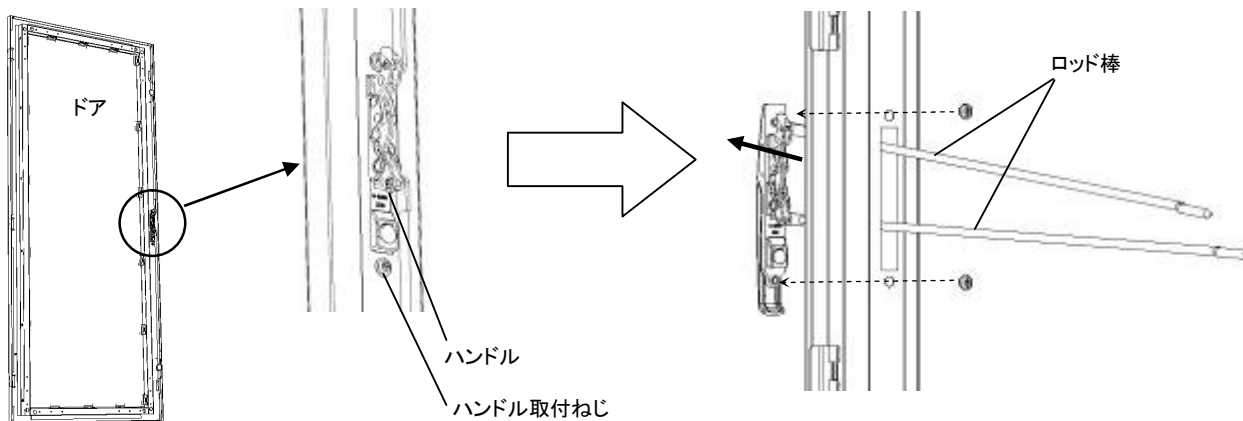
②ドアを上下反転し、化粧カバー、化粧コーナーを外した際と逆の手順で取付けします。



③マイナスドライバーなどを利用し、上下のロッド棒サポータを外します。



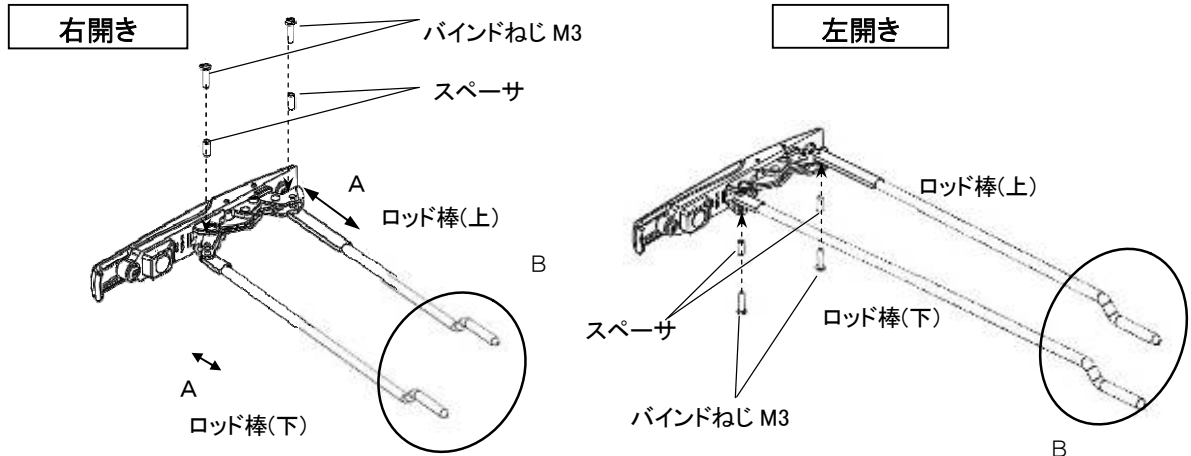
④ハンドル裏面の取付ねじ(M5)を外し、ハンドル・ロッド棒は組付けたままドアから外します。



⚠ 注意	
!	<p>ハンドルの着脱はドアを外して作業をしてください。取付けたまま作業をしますと、部品、ねじなどが落下する恐れがあります。</p>

(3) ハンドル組付け部品の変更

- ① ロッド棒を取付けしているねじ(バインドねじM3 2個)を外し、ロッド棒及びスペーサを外します。
- ② ロッド棒の向きを変更し、スペーサを入れてハンドルに取付けします。ロッド棒には上下があり、A部が長い方が(上)、短い方が(下)になります。また、取付ける向きは、ロッド棒が下図B部の向きになるように取付けしてください。



- ③ ハンドルを、取外しと逆の手順で取付けします。

■マウントアングル・マウントレールの移動方法

(1) マウントアングル・マウントレールの前後移動

マウントアングル及びマウントレールを取付けしているレール 取付アダプタ(上下各 4 個)のねじ(六角ボルトM6 24 個)を取外しますと、マウントアングル・マウントレールの前後移動が 20mm ピッチで可能です。

(ご注意)

- ・マウントアングル・マウントレール間ピッチの変更は、搬入・組立後に行ってください。
- ・また、側フレームは外してご使用ください。
- ・マウントアングル・マウントレール間ピッチを変更しますと、下記「表1」のオプションの取付ができない場合があります。
- ・組替仕様-2ME を取付けた場合は、奥行き 1000 mm 以上のラックについて、マウントレールの前後移動が可能となります。

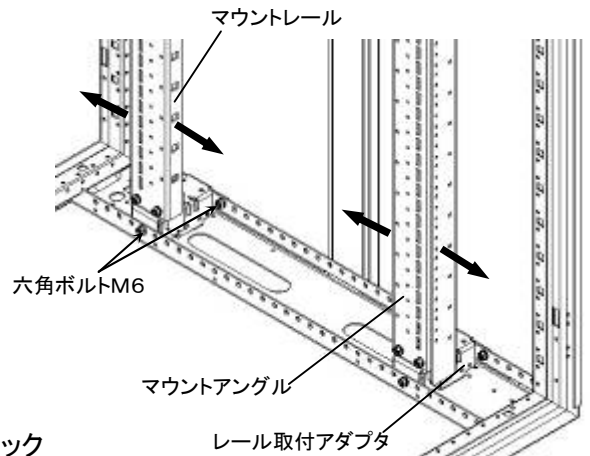


表1

スリット付台板セット	(RD152-□)	重量用台板セット	(RD151-□)
スリット付スライド式台板セット	(RD162-□)	重量用スライド式台板セット	(RD161-□)
山型レール	(RD62-□)	L型レール	(RD65-□)
線止めバー	(RD83-D□)	ケーブルトレイ(奥行用)	(RD875-D□)

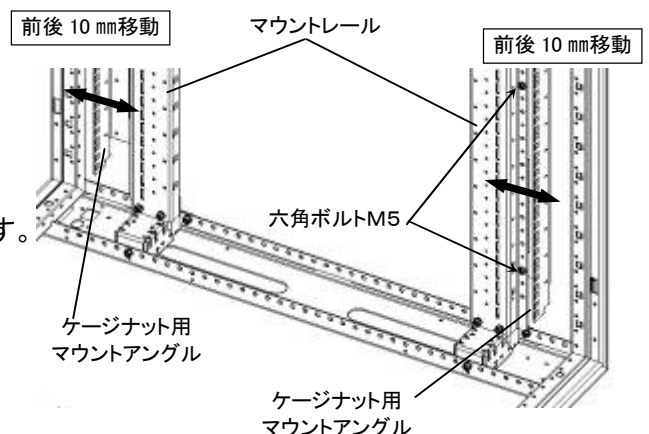
(2) ケージナット用マウントアングルの前後移動

【対象機種:組替仕様(-2ME)】

ケージナット用マウントアングルを取付けているねじ(六角ボルトM5)を取外すことで、ラック前・背面側のケージナット用マウントアングルが前後 10mm 移動可能です。

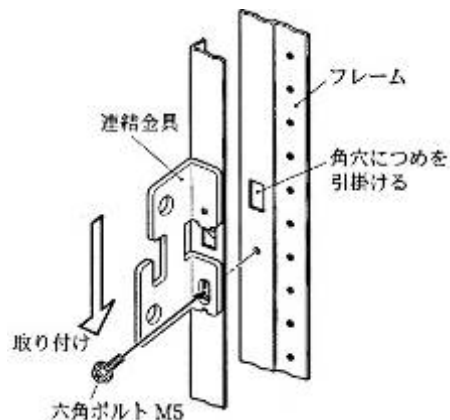
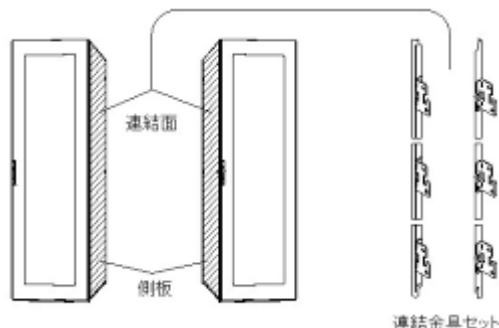
(ご注意)

ケージナット用アングルを移動した際に、アンカー固定及び連結作業がしにくい場合があります。この時はアングルを移動する前に作業を行ってください。

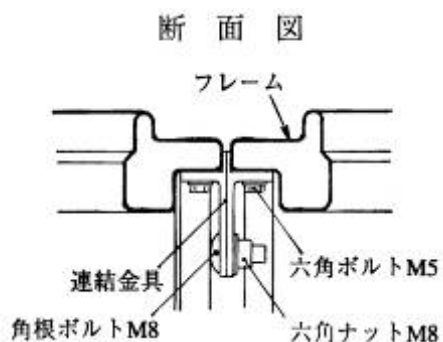
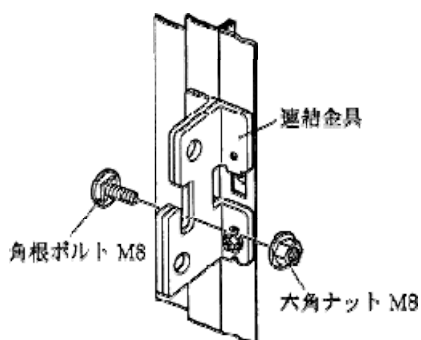


■連結方法

- ①連結面の側板を外し、連結金具セット(RD76-FS[KN])を取付けてください。連結金具の取り付けはフレーム角穴につめを引掛け、属ねじ(六角ボルトM5)にて固定してください。連結金具は固定ねじ(六角ボルトM5)を外し、上部へスライドさせると、引掛け部が外れます。



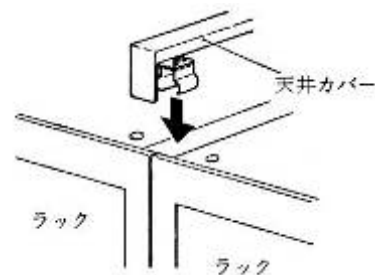
- ②連結金具の連結面を合わせ、角根ボルトM8と六角ナットM8にて締付けてください。



- ③天井カバーを天井連結面に差し込んでください。バネによる保持のため、取付ねじは不要です。

(ご注意)

- ・連結金具セットの取り付けは、アンカー固定する前に行ってください。アンカー設置されたラックの間に連結金具セットを取付けることはできません。
- ・ケージナット用マウントアングルを移動する前に連結金具セットの取り付けを行ってください。



警告	
	<p>本品を連結した状態で吊上げないでください。変形・落下の恐れがあります。</p>

(ご注意)

天井連結金具セット(RD76-1FSN)を使用される場合は、別途お問合せください。

■各種オプションの取付方法

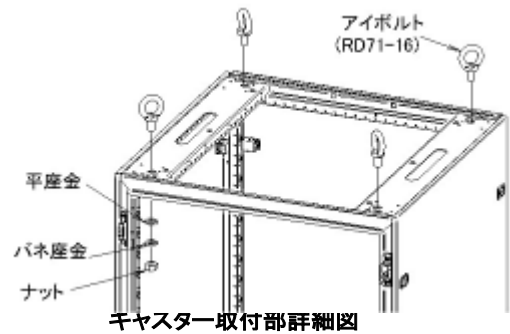
(1)アイボルト(RD71-16)

天井板を取外し、天面の穴φ20に、アイボルト(M16)を取付けます。

(ご注意)

アイボルトを付けた状態で、天井板を取付けすることはできません。

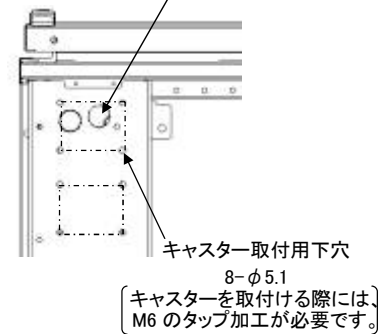
アイボルト取付部詳細図



(2)キャスター(RD72-6H, 6HS, 7, 7S)

ラック本体底面のキャスター取付用下穴32-φ5.1にM6のタップ加工を行ってから取付けてください。

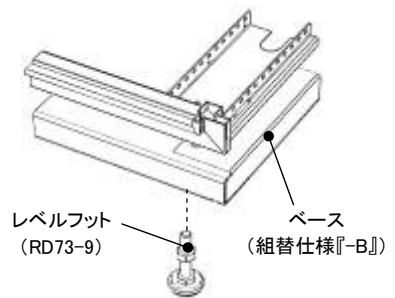
アンカーボルト取付穴
φ20



レベルフット取付部詳細図

(3)レベルフット(RD73-9)

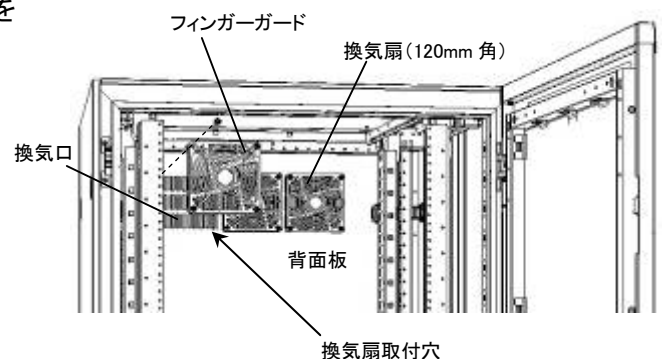
レベルフット(M16)を取付ける際は、基台組替仕様・ベース付タイプ(-B)が必要となります。別途ご用意ください。



(4)背面板への換気扇(120mm角)

背面板に設けられた換気口を使用し、換気扇(120mm角)をねじ止め固定してください。背面板への換気扇取付数は3個です。

換気扇取付部詳細図



⚠️ 注意



回転物注意

回転部に指や異物を入れないでください。けがの恐れがあります。

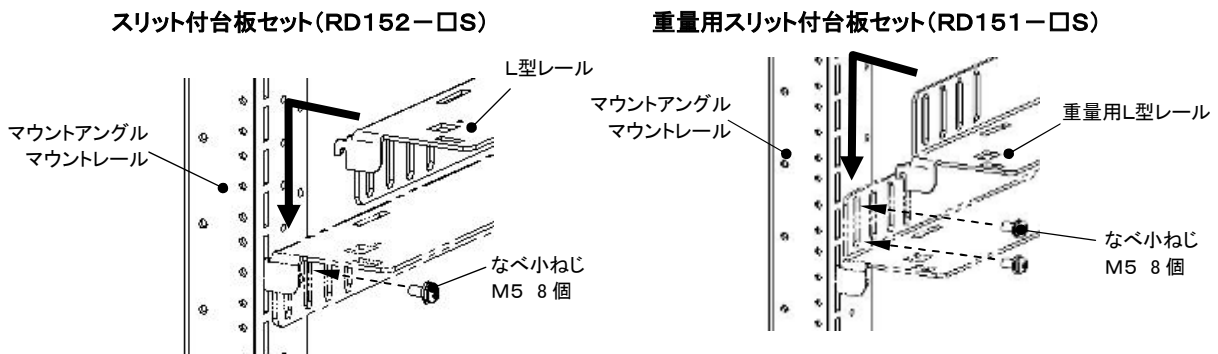
必ずフィンガーガードを取付け、外さないでください。けがの原因になります。



保守・点検作業は必ず電源を切り、換気扇が停止してから行ってください。けがの原因になります。

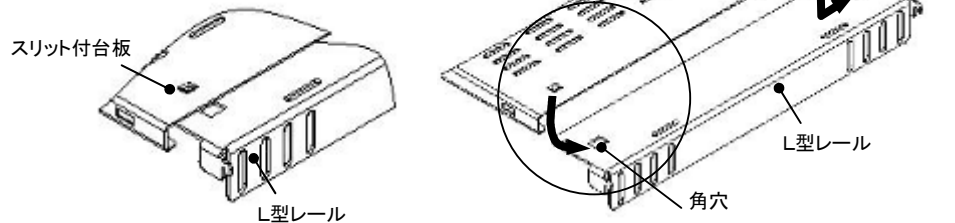
(5)スリット付台板セット(RD152-□S)・重量用台板セット(RD151-□S)

①L型レールをマウントレールに引っ掛け、なべ小ねじM5にて固定してください。

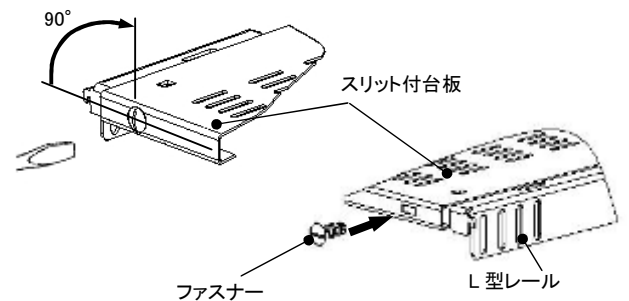


②台板の前側を 20 mm 持上げた状態で後部のつめがL型レールの角穴にかかるように押込み、台板の前面をL型レールにはめ込んでください。

はめこみ図



③ファスナーを前面の穴に差し込み、マイナスドライバー等で時計回りに 90° 回転させてください。

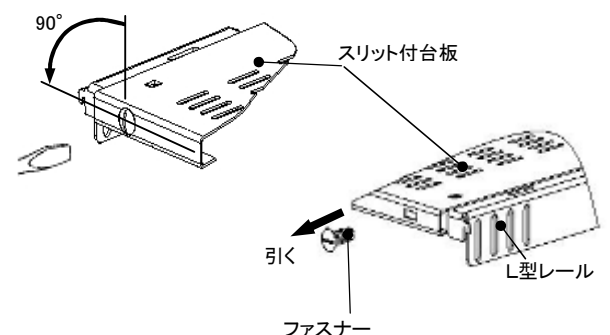


⚠ 注意	
	<p>台板取付け用ファスナーは 90° 以上回さないでください。90° 以上回すと破損の原因になります。</p>

④台板を外す際は、ファスナーを時計の逆回りに 90° 回転させロックを解除します。ファスナーを前面に引いた状態で台板を外してください。

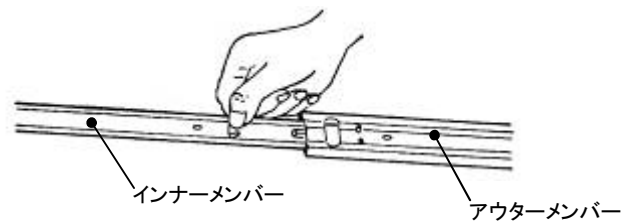
(ご注意)

台板に物を置く際は、耐震対策として固定ベルト (RD821) などで固定してください。

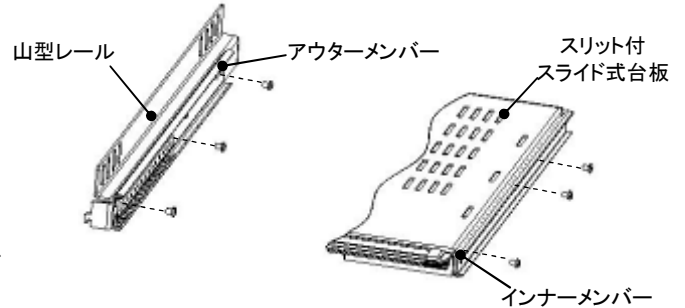


(6)スリット付スライド式台板セット(RD162-□S)

- ①スライドレールのインナーメンバーを引出します。
ロックを解除し、インナーメンバーをアウターメンバーから
取外してください。



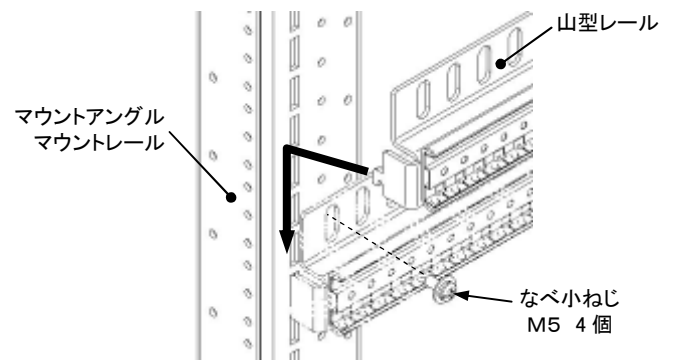
- ②山型レールにアウターメンバー、スライド式台板に
インナーメンバーをねじ止めしてください。



- ③山型レールをマウントレールに引っ掛け、なべ小ねじ
M5にて固定してください。最後にスライド式台板を
はめ込んでください。

(ご注意)

- ・取付後、2~3回スライドさせスムーズに出し入れ
できるか確認してください。
- ・スライド式台板に物を置く際は、耐震対策として固定
ベルト(RD821)などで固定してください。

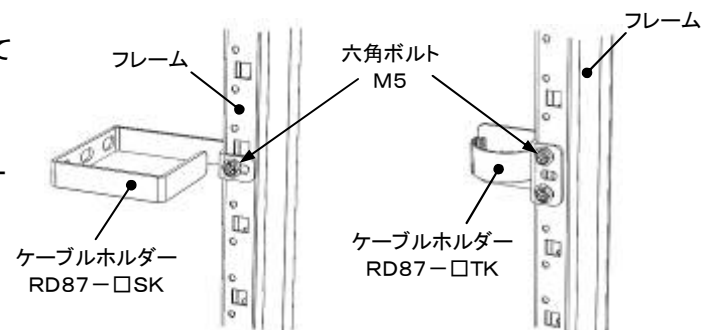


(7)ケーブルホルダー(RD87-□SK/□TK)

ケーブルホルダーをフレームの丸穴(φ4.6)にあわせて
六角ボルト(Sタイト)M5にて固定してください。

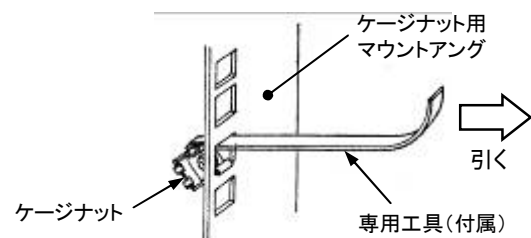
(ご注意)

ラックの機種により、取付けができないケーブルホルダー
があります。別途ご相談ください。



(8)ケージナット(RD751)

ケージナットのバネの一方をマウントアングルの角穴に
引掛けます。その後、専用工具またはマイナスドライバー
等でもう一方のバネを角穴に入れてください。



MEMO

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2011年8月現在のものです。

B946711957-G